

[illegible]

7月1日が第1回進路希望調査の締切

「**第1回進路希望調査**」の締切は**7月1日（水）**です。今日の「総合的な学習の時間」では進路について学習をしました。その内容は理解できたでしょうか。

I 公立の入試の制度について知っていますか？

■京都府の公立高校の入試制度は「**通学圏制**」「**単独選抜**」と言われる制度です。

Q1 「通学圏制」って何ですか？

①志願(受験)できる「高校」「学科」が
保護者の住所によって限定される制度です P5参照

②私たちは「京都市・乙訓地域」という通学圏です

③普通科は通学圏の普通科に限定されます。

例外: スポーツ総合専攻

④ **専門学科**の中には京都府全域が通学圏の学科もあります
【具体例】 堀川探究、嵯峨野こすもす、桃山自然科学、城南菱創
 教養科学、鳥羽グローバル、工学院、京都すばる、海洋 等

I 公立の入試の制度について知っていますか？

Q3「前期選抜」「中期選抜」はどのように合否が決まりますか？

普通科の場合	前期選抜(A方式)	中期選抜
評定の得点	135点満点	195点満点
テストの得点	150点満点	200満点
その他の得点	15～95点	

■専門学科は配点が独自(前期要項で確認)

■自分の「評定の得点」をシミュレーションしてみよう■

【別紙参照】自分の評定を記入して計算してみよう

★前期: 45点満点×3年間=135点満点(27点~135点)

★中期: 65点満点×3年間=195点満点(39点～195点)

[illegible]

時制ですから、「**集団での学習**」が前提です。20人規模の集団です。ここが、この集団の人数の相違が通信制・総合支援学校との大きな違いだとも思います。

新しい学校なので**7月23日（木・祝）と24日（金・祝）との説明会には必ず参加してください**。募集定員は 80 名の予定です。昨年度の説明会の際にも既に 300 名程度の参加者があったと聞きいています。平成27年度に開校した「清明高校」の初年度入試の倍率はA・B方式双方を合わせて2.37倍でした。定員120名に対して、出願者322名、受検者286名です。286名の受験者に対して不合格者は166名。不合格者の方が多かった結果です。「奏和」も似た状況になることも考えられます。それだけに必ず説明会への申込をしてください。申込は6月30日（火）からですので、早い目に申込をしてください。

期日の守られない「申請」「申込」は受け付けられません。 進路希望調査も期日厳守で。

何人かから、進路希望調査について質問を受けました。「わからない点を質問する」は大変いいことだと思います。

Q. 「A 1」「A 2」の違いは何ですか？

気になったことは「メモをし、質問してください」。「A2」の方式は「B方式」と同じく、部活動などの「活動実績報告書」の配点も多い受検の仕方です。顕著な活動実績のない人の多くは「A1方式」で受検をしていきます。

「A2方式」と「B方式」の違いは、検査内容が「国数英のペーパーテスト」か「小論文」かの相違です。「前期選抜要項」によって明確になります。前期要項は9月以降に正式発表されます。

Q.「奏和」ってどんな学校ですか？

「昼間定時制」と呼ばれる来年度開校される学校です。まず、「**進路便いNo.5**」を見直してください。「定時制」ですから、「**毎日学校に通う**」必要があります。高校ですから、「**修得主義**」「**課程主義**」です。所定の教育課程を履修して、目標に関し、一定の成果を上げて単位を修得することが必要です。全日制・定時制に進んだ「勉強にあまり自信のない生徒」には、私はこう言っています。「まずは、毎日休まずに学校には行きなさい。勉強で赤点をとったりしても、高校の先生は『補習』や『追加レポート』などで進級や卒業を応援してくれるから、頑張ってそれにも参加しなさい」と。

「奏和」高校は通信制ではなく昼間定